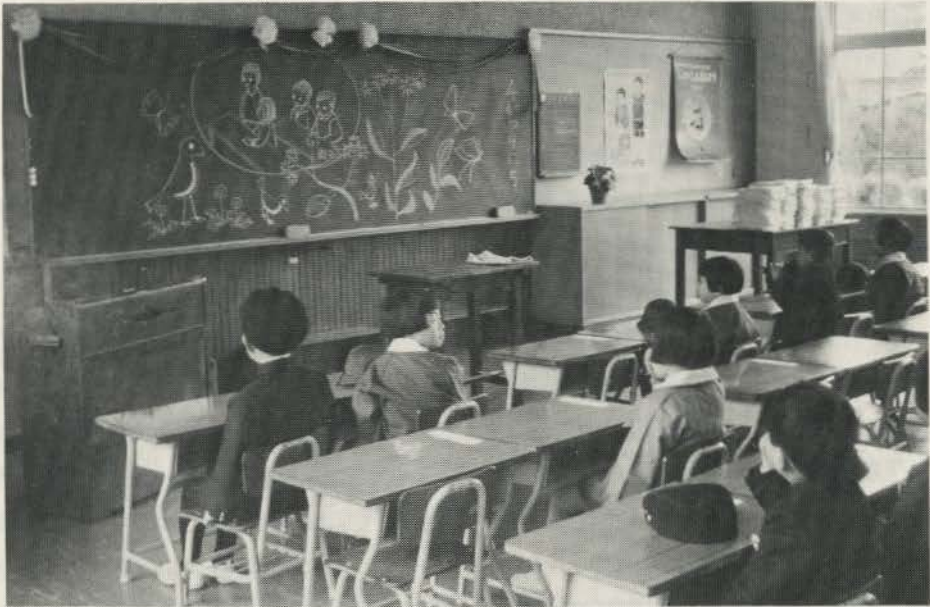


光市医師会報

昭和50年9月発行

No.38



どれほどと計算できる
愛は貧困なのである

シェイクスピア

光市医師会

医師会月間行事

8月26日(火) 研究会 於医師会館 午後7.30

腸重積の検討

演者 市民病院外科 井原先生

8月26日(火) 月例会 於医師会館 午後8.00

○協議事項 (1)県医体育大会の件 (2)血液型検査の件

○報告事項 (1)諸会議の報告 (イ)医師国保組合会議(7月23日) (ロ)麻薬担当理事協議会(7月24日) (ハ)保険担当理事協議会(7月29日) (ニ)産業保健部会担当理事協議会(8月6日) (2)徳山保健所結核審査協議会委員の改選の件 (3)老人検診の件 (4)医師会広報文書について (5)諸会の開催 (イ)学校保健部会担当理事協議会(8月30日) (ロ)県内科医会(8月31日) (ハ)県医体育大会(9月24日) (ニ)市部医師会長、副会長会議(10月4日)

9月10日(水) 理事会 於医師会館 午後7.30

○協議事項 (1)循環器疾患等健康診断実施
光市医師会チーム、県医体育大会(ソフトボール)に優勝

9月24日県総合運動場において開催された県医体育大会ソフトボールの部に優勝し大優勝旗を獲得した。

(1)出場会員 松村 広田 亀田 富恵 竹中 藤村 大野 田村 梅田 井原 高橋

(2)成績 準優勝戦 光医 12: 吉南医 4(2ゴールDゲーム)
優勝戦 光医 9A: 豊浦医 8

について (2)三混ワクチン接種について (3)会員見舞金について (4)牛島診療について (5)光市医師会体育大会及び永年動続者表彰について (6)救急医療について

○報告事項 (1)諸会の開催(産業保健部会担当理事協議会、福祉担当理事協議会) (2)国保県外分全国決算制度について (3)オートンの廃棄について (4)診療所の増改築について (5)学校保健部会担当理事協議会報告

9月23日(火) 例会 於医師会館 午後7.30

○協議事項 (1)循環器疾患等健康診断について (2)三混ワクチン接種について (3)牛島診療について

○報告事項 (1)周南医学会について (2)医師国保の諸届出について (3)県体育大会について (4)光市医師会体育大会について (5)保存血液の表示ラベルの変更について (6)産業保健部会担当理事協議会報告 (7)納税組合について

(3) 経過

(イ)対吉南戦においては、体の硬さがとれず、自失により4点の先取得点を許したが、2回以後打棒大いに奮い12対4の大差で勝ち優勝戦に進んだ。

(ロ)下関医を20対5で下した豊浦医と優勝をかけたの対戦。対吉南戦と同様4点の先取点を許した。相手チームの待球作戦に比し光医の積極打撃作戦は、2度の走塁凡ミスが

あったが着実に加点し、6回亀田先生のセンター突破の本塁打により同点とし、いよいよ最終回7回裏をむかえた。慎重な攻めで無死、一二塁とし、ここにおいて代打を

起用した。代打者期待にこたえて三遊間突破のクリンヒットを放ち、二塁走者勇躍本塁を踏み8対7でサヨナラ勝利を飾った。

高脂血症の診断・高脂血症に続発するもの

(Medicina Vol II No.4 より)

高脂血症は家族性の遺伝的素因に基づいて現われるものと、いろいろな疾患の臨床症状の1つとして現われる場合、さらには食事の偏りなどの影響によって現われる場合がある。これらは家族性または二次性高脂血症と称されるが、高脂血症をみた場合には、これを起こしている代謝異常と高脂質症の存在によって現われる臨床的異常の両者を嚴重に区別することが必要である。以下は高脂血症の存在によって惹起される臨床的異常の2.3について述べる。

粥状硬化症

高脂血症の継続が、各種臓器の虚血性病変の重要な進展因子の1つであることは動物実験や疫学的研究などを含めて多くの報告が明らかにされている。従来、動脈硬化ことに冠動脈硬化の危険因子として多くがあげられているが、なかでも高コレステロール血症、高血圧症、喫煙、肥満の4つが重視されている。フラミングハム調査、アルバニイ調査、シカゴガス会社調査、ロスアンゼルス調査、ミネソタ調査などをまとめて開始されたAmerican Heart AssociationのPooling Projectの成績では、危険因子の存在によって冠疾患危険率が増し、とくにこれらの因子の幾つかが組み合わせると、危険の程度が急速に増す。また最も危険度の高いものからみると、高コレステ

ロール血症、高血圧、喫煙の順となりさらに高脂血症は動脈硬化の唯一の必要因子であって、他は貢献因子であろうと結論している。

また高脂血症を食事などによって是正した場合、動脈硬化の進展が抑制されるかどうかという観点からの疫学調査も行なわれている。ニューヨークのAnti-Coronary Club, Los AngelesのVeterans Administration Hospital, Hersinkの精神病院などにおいて行なわれた調査がそれで、いずれも飽和脂肪を不飽和脂肪で置換した実験食群と、並通食を摂取したコントロール群について長年の観察を行ない、実験食群では血清コレステロールやトリグリセライド値の低下と共に、虚血性心臓病の発病が抑制されることを見出している。CPIBのような抗脂血剤による検討も行なわれており、KransolはUnited Air Line従業員調査から、CPIBの投与により、虚血性心臓病の発病が抑制され、とくに若年者ほど著明であると報告している。

動脈硬化の進展に関与する高脂血症の型についても論議されているが、Type IIa, IIb, III, IVが主として関与し、Type Vの関与は軽いとされており、中でもType IIa, IIbが最も強いとするものが多い。しかし、冠動脈造影の所見とリポ蛋白異常の関係をみ、冠動脈狭窄を認めた126例中68例にリポ蛋白異常があり、

そのうち Type II は36例、Type IV は32例ではほぼ同率であったとするものもある。いずれにしてもこの場合、冠動脈狭窄を認めない66例中でリポ蛋白に異常を認めたものは7例に過ぎなかった、超遠心法で測定した日本人の高脂血症のタイプの中、脳硬塞、虚血性心臓病ともType IIa, IIbが多くType IV はそれにくらべて少ないようである、以上のように、高脂血症は粥状硬化進展の重要な危険因子であるが、さらに、その種類によってアテロゲネーシス差があるので、実例についてはこれらを把握した上で対策を立てることが重要である。

血清脂質の正常値(WHO)

総コレステロール(C) 130 - 180 - (220)mg/dl

中性脂肪(TG) 30 - 130 mg/dl

Bリポ蛋白(LDL) 200 - 400 mg/dl

同好会

山口県医謡会が9月21日(日)防府市温泉観光ホテルに於て開催された。今回は先年死去された県医謡会の長老故村田文二先生の追善の会が併せ行なわれた。光医医謡会の出演は右記の通りである。

素謡 清経 高島、大野、藤村

仕舞 海士 藤村直子

舞囃子 紅葉狩 前田、河内山、藤村

連吟 井筒 大谷秀子、前田逸子

あとがき

暑さ寒さも彼岸まで、残暑のきびしかった今年もめっきり涼しくなった。だが物価沈静は落ついたと云ふものの、諸物値上りの秋、X線フィルムの30%値上げを始めとして医療の諸材料の値上げの秋は医業経営をゆさぶり始めている。無学の徒輩の一言をめぐって中医協は一步も前進しない。

この言葉のうけとめ方に、医師会員の意見もさまざまであろうが、早急な解決を期待したいものだ。

草の実のこぼるる草の深さかな

桐谷

発行所 光市小周防1633の2林医院内
光市医師会
TEL 0833 (77) -2061
発行者 林 孝之
編集者 会報編集委員会
印刷所 光市御崎町
中村印刷株式会社

PLACENTA - SAUERBRUCH
新しいタイプの胃・十二指腸潰瘍治療剤



健保適用

ザウエルプラセンタ^注



特長 二重盲検法で立証された効果・著しい組織修復作用 内視鏡により確認された治療効果 包装 2ml x 5 Amp
適応症 胃・十二指腸潰瘍 薬価 480.00円

発売元 北陸製薬株式会社

製造元 福井県勝山市立川町一丁目3-14
(支店・東京・福岡・札幌・高松・出張所・山形・松江・山口)

PROF. SAUERBRUCH-PRAPARATE BÖTTGER K. G. BERLIN WEST